令和８年度第１回小平市文化財保護審議会　要録

日時：令和８年５月 20 日（水）午後１時 30 分～午後５時

場所：市役所本庁舎３階 301 会議室

出席者：小平市文化財保護審議会会長、副会長、委員（6 名）
事務局（4 名）
文化スポーツ課：課長、文化財担当係長（学芸員）、主任（学芸員）
小平市文化振興財団：ふるさと村担当係長

傍聴者：1 名

１　課長挨拶

２　会長挨拶

３　報告事項

（1）小平市文化振興財団
小平ふるさと村　令和７年度事業報告・令和８年度事業計画について

【事務局】　令和７年度は合計で 88,525 人にご来園いただき、開園以来過去最高の入園者数です。令和８年度の年間行事は郷土の歴史的文化の継承に関する事業が 31 件、地域の振興に関する事業が 11 件の計 42 件の事業を予定しております。

令和７年度に実施した主な修繕としては、水車小屋屋根と火の見櫓の修繕があります。前者は屋根の杉皮を全て張り直しました。後者は根元の腐食が進んでおり倒壊の恐れがあったため、基礎部分から全部取り替えるためにコンクリートを打ち直し、補強のための金属板を設置しました。現在修繕している件として、強風で損傷した旧小平小川郵便局舎の正面玄関扉の丁番です。また旧小川家住宅玄関棟のグシが強風で損傷し、竹と防水用鉄板が落下した件は、今月中に応急処置を行う予定です。

【委　員】　来園者が増えたのは大変良い。増えた理由をどのように分析しているか。

【事務局】　コロナ禍以降、令和６、７年度と１万人ずつぐらい増えています。新しい行事を行っているわけではないので、近場でイベントを定期的に行っている場所として認知されたのではないかと考えています。

【会　長】　特に 11 月が多くなっている。従来通り、増えているのは良いことだ。イ

ンバウンド需要はあるのか。

【事務局】　徐々に増えているように思われますが、大きくは変化していません。

【委　員】　駅から遠いこともあり徒歩または自転車が多いだろう。

【会　長】　小学校が来る動機は何か。

【事務局】　社会科見学のルートになっていますす。

【会　長】　建物などの解説はだれが行うのか。

【事務局】　嘱託職員が対応しています。

【委　員】　多い時期は。

【事務局】　秋が多くなっています。

【副会長】　事業には1となっているが、来園した学校数があると良い。

【事務局】　事業の件数としては1件として数えています。

【会　長】　破損修繕の間隔はどのくらいか。

【事務局】　開園から30年経ち修繕は増えています。具体的な修繕計画を立てるまでには至っておりません。

【事務局】　小規模な修理は文化振興財団の予算で対応することもあり、大規模なものは市の予算で対応します。

【事務局】　神山家の茅葺屋根など葺き替えが必要な段階に入っています。

【委　員】　茅葺屋根の葺き替えは費用が掛かるだろう。

【副会長】　積み立てはできないのか。

【事務局】　できません。

【委　員】　単年度予算でやっている以上、プライオリティをつけてやっているのだろうが、安全安心の所が優先されるなど難しい状況だろう。世の中は作ってきたものをどううまく使い続けるかというサステナビリティが問われている時代なので、そのような考えが必要だろう。

【事務局】　公共施設の更新はどの自治体も大きな行政課題になっていまして、プライオリティとしては学校が優先され、ふるさと村など我々が取り扱うような施設については難しい位置づけです。

【会　長】　何年かに一度は予算が確保できることを想定できれば良い。

【委　員】　毎年1万人ずつ来園者が増えているという実績もある。

【委　員】　事業が昨年度から2件減っているが、その理由は何か。

【事務局】　近年の夏季の猛暑による来園者の状況や参加実績等を踏まえて見直しを行った結果です。

【会　長】　観光案内1件の内容は何か。

【事務局】　来園者から市内や周辺の見どころを尋ねられた際にご案内をしています。

【会　長】　小学校校外学習の対応もそうだが、頑張っていることなので、明記した方が良い。寄席は、有料で実施しているのか。

【事務局】　一人当たり 1,000 円です。旧神山家住宅主屋内で実施しているので 40～50 人ぐらいが最大収容人数になります。

(2) 文化スポーツ課

小平市文化財保護事業について（令和 7 年度実績、令和 8 年度計画）

【事務局】　文化財保存研究団体への補助金に関し、小平郷土研究会の方言調査の成果公開に対して補助金を交付します。印刷物と音声データの入った CD-ROM を添付する予定とのことです。竹内家の大ケヤキについても落ち葉処分に補助します。鈴木稲荷のケヤキについては令和 9 年度に枝おろしを検討されているのでその補助の実施について調整します。

教育普及活動として昨年度は、文化財体験講座「黒曜石で旧石器を作ってみよう」、海岸寺修復工事完了講演会、こだいらこがねい文化財めぐり、遺跡ウォーク、市役所で終戦 80 年パネル展示を実施しました。今年度は、文化財体験講座、文化財講演会、遺跡ウォーク、昭和 100 年パネル展示、こだいらこがねい文化財めぐりを予定しています。昨年度の文化財防火デーは大変久しぶりに海岸寺で実施しました。多摩郷土誌フェアは昨年度の会場であった立川市柴崎学習館が使えない可能性があるため未定です。

昨年度の埋蔵文化財発掘調査は 4 か所（中央エリア、八小西、3・2・8 号線玉川上水架橋部、小平合同庁舎）で実施しました。埋蔵文化財の届出 12 件、史跡名勝の現状変更 9 件、小金井サクラは枝折れ等が 3 件、繁茂 1 件でした。今年度は本調査 1 件、試掘調査 1 件を想定しています。

収蔵品の管理ですが、燻蒸を年 1 回実施してます。資料貸出は 4 件です。掲載許可 9 件、調査協力 2 件です。出前講師の依頼等は 4 件ありました。令和 6 年度に錦城高校が作成した鈴木遺跡の紹介動画の閲覧者数は 329 人増えていました。他自治体からの書籍等受領は 281 件です。石造物の拓本裏打ちを実施しております。郷土カルタは販売好調で在庫切れとなったため、昨年度末に増刷しました。印刷代が高くなっていることもあり販売価格は 1,000 円になりました。

鈴木遺跡の発掘写真のデジタル化に関しましては、国の補助金も受け実施しました。図書館のデジタルアーカイブの拡充に協力をして今回は鈴木遺跡の出土品の 3D データ、海岸寺の修理報告書と 3D データを掲載してもらいました。統合型・公開型 GIS システムという地理情報を市役所全体で一括して使えるようにするために、文化財担当としては国史跡・名勝・埋蔵文化財包蔵地を公開しました。

鈴木遺跡資料館のエアコン清掃・点検を行いましたが、内部の機器に少し問題があることが判明いたしました。これに関しては今後、修理を検討しな

いといけない状況です。資料館については来館者数が 1,833 人でした。

【委　員】　燻蒸で使っている薬剤は。

【事務局】　ミラクルン GX 及びドライミスト、二酸化炭素を主にして窒息させるようなものです。

【委　員】　本調査の面積は。

【事務局】　約 940 ㎡程度を計画しています。

【委　員】　GIS システムから各包蔵地の説明のページには飛べるのか。

【事務局】　現在は飛べません。調べたい土地が包蔵地かどうかを確認できるまでです。他市では発掘調査のデータも公開しているところもあります。

【委　員】　令和 6 年度の実績では、図書館事業で古文書の修復事業があったがどうなったか。小さな規模でも継続する必要がある。

【事務局】　図書館としては実施したかったようですが、予算の都合で実現できなかったようです。

【会　長】　図書館のデジタルアーカイブ拡充で 3D データだけでなく、海岸寺修理の写真などについても公開できれば良い、何十年後の修理の際に役立つだろう。平櫛田中彫刻美術館の建物などもできれば良い。

【事務局】　図書館から地域資料デジタルアーカイブを拡充したいという考えなので今後も協力したいと考えています。

【委　員】　資料館の来館者について、大学生の来館者は 50 人程度減っているが、全体としては 200 人ぐらい増えてるがこの点はどう考えるか。

【事務局】　人数カウントについては、見ただけでは大学生か一般かがわからないことが原因ではないかと思います。

【会　長】　展示の充実、パネル展示を市役所や他の施設で行い来館を促すなど周知が必要だ。

【事務局】　告知は市報とホームページを使っています。資料館に来てもらうようなイベント、鈴木遺跡の整備は地域の人に影響が大きいため、チラシのポスティングを行っていますが、来館者は 50 人でした。過去には西武鉄道が行ったスタンプラリーなどが来館者数の増加に効果がありました。

(3) 国史跡鈴木遺跡保存活用事業について

【事務局】　第 5 回検討委員会で承認を受け、教育委員会、議会にも報告後、整備基本計画が完成しました。3 月末に鈴木遺跡資料館で保存管理等用地整備事業の進捗について報告するパネル展を実施しました。整備はゾーニングで分けて進めていくこと、令和 8 年度からこの整備計画に基づいた工事の基本設計を進めることを報告しました。延べ 6 日間で参加者数 62 人、配布資料を持って行っていただいた部数は 13 部でした。前年度は 59 人でほぼ同じ人数でし

た。また質問や意見はいただいておりません。

今年度からは、遺構復元ゾーンと名付けているエリアを除き基本設計を行います。遺構復元ゾーンについて発掘調査をしないと覆屋を建てる位置も決まりませんので、旧石器が埋蔵されている場所を下調べする地中レーダー探査を実施します。

【委　員】　発掘調査はあまり見られないと思うが、公開する機会はあるのか。

【事務局】　公開の機会があれば実施したいと思っていますが、今年度は地表からのレーダー探査で、掘削しないため、見どころはありません。

【委　員】　非破壊の調査ということか。

【事務局】　史跡地のため、遺構の破壊を最小限にするそのような方法になります。

4　議題

(1) 小平市文化財指定候補の検討について

【会　長】　一つ目が立川家筆子塚、二つ目が圓成院木造薬師如来坐像、三つ目が斉藤家文書だ。筆子塚については、調査が進んで詳しく説明されている。木造薬師如来坐像については前回指摘いただいた点を修正した。

①立川家筆子塚

【事務局】　前回の審議会後に、委員にご協力をいただいて、実物と拓本で確認しました。現時点で読める文字は反映した状態になっています。この後の委員に『小平町誌』もご確認いただきました。

【委　員】　写真に4基写っているが。

【事務局】　そのうち1基は立川家のお墓です。

【委　員】　墓地を動かした際にこのような並びになった。

【会　長】　現状の石塔は、建てられた当時の並びではないことを認識しておく必要がある。

【委　員】　小川村・小川新田の寺院には、小川寺と妙法寺と平安院があった。妙法寺は国分寺に移転しその跡地が第一小学校になった。また小川村の人はすべて小川寺の檀家になった。

【委　員】　立川家の寺子屋は小川村にあったので、小川家文書などと目録で確認してみたのですが、筆子塚について史料はなかった。『小平町誌』には寺子屋の弟子を引き継いだという記載がある。雄右エ門の碑については読めない文字があったので、その点を明示する必要がある。

【会　長】　関わっている人については確認しておく必要がある。

【事務局】　『小平市史』には、立川家よりも前に熊野宮で寺子屋を開いていたという記述がありますが、筆子塚としては最古級といえます。

【事務局】　『小平市史』を確認していないので、それが正しいか確認する必要があ

る。

【委　員】　『小平町誌』には古文書を解読したものが掲載されており、筆子には結構女子がいて手習いさせていたことが興味深かった。

【委　員】　過去帳が焼けているため、筆子塚しか史料は残っていない。あまり裕福ではない地域ではあったが、教育に早くに目覚めた地域であった。

②圓成院木造薬師如来坐像

【会　長】　平安時代制作の仏像が小平に残っていることは大変貴重だ。もともとあった立川市には、この像の脇侍であった左右の菩薩像が残されている。圓成院の旧本堂には十二神将や他の像も残されており、機会があれば調査したい。薬師如来の周りには十二神将を置く場合がある。そこからも何かわかるかもしれない。圓成院の了解を得られれば、審議会で薬師如来坐像や他の像を視察したい。

③斉藤家文書

【会　長】　古文書の所在が確認できたと、事務局から報告を受けた。

【委　員】　現時点で所在情報などを推薦資料に記入した。

【会　長】　事務局は所有者の内諾を得る連絡をしてほしい。個人の住宅に審議委員全員で伺うことは難しいだろうから、可能であれば古文書を専門とする委員に代表して行っていただくなどが良いだろう。

【委　員】　指定には古文書の現状を確認し、目録で把握されている員数との整合性を調査する必要がある。所有者の家で確認させていただくか、お預かりして作業する必要がある。

【事務局】　まず所有者のご意向を確認します。採寸する必要はあるのでしょうか。

【委　員】　古文書の文化財指定の際に採寸はあまり聞かない。大判のものだけ採寸することはある。形態については記録するが。

【事務局】　小平市では、古文書はこれまで図書館が扱っているので、斉藤家に話を持っていく上でも、図書館に間に入ってもらう必要があると考えます。

【事務局】　以前委員から斉藤家が古文書保管用の蔵を建てて、保管していると話されていました。

【事務局】　一時的にでもお預かりする場合は、結構しっかりとした場所を用意する必要があります。図書館と調整が必要で、斉藤家に正式に話をしに行くときに、会長と委員にご同行いただければと思います。

５　その他

【会　長】　松明回しについては、今年度も視察を行いたい。小平の開発初期からの習

慣である可能性を考えると、今後も引き続き調査を続けていく必要がある。

令和８年度第２回審議会の日程について

〈次回は令和８年７月 23 日（木）、30 日（木）を候補日とし、事務局が調整することとして散会〉

令和８年度　第１回　小平市文化財保護審議会　次第

日　時：令和８年５月 20 日（水）午後１時 30 分～
場　所：小平市役所　301 会議室

１　課長挨拶

２　会長挨拶

３　報告事項

（1）小平市文化振興財団
　小平ふるさと村　令和７年度事業報告・令和８年度事業計画について　資料１

（2）文化スポーツ課
　小平市文化財保護事業について（令和７年度実績、令和８年度計画）　資料２

（3）国史跡鈴木遺跡保存活用事業について　資料３

４　議題

（1）小平市文化財指定候補の検討について　資料４

５　その他

令和８年度の審議会日程について
　第２回　令和８年７月　　日
　　（小川寺松明まわしは７月 31 日）
　第３回　令和８年 11 月頃予定
　第４回　令和９年２月頃予定

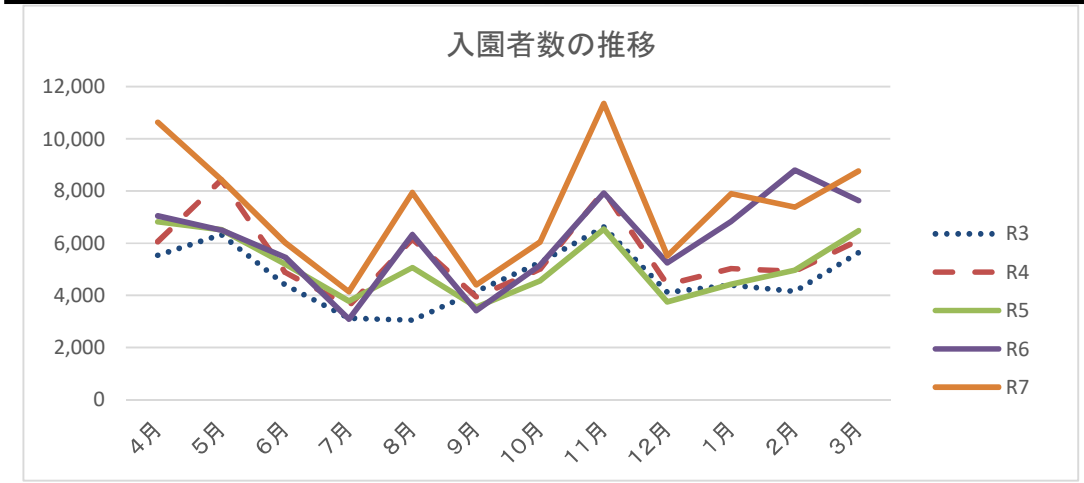
令和7年度 小平ふるさと村 自主事業 実施状況一覧

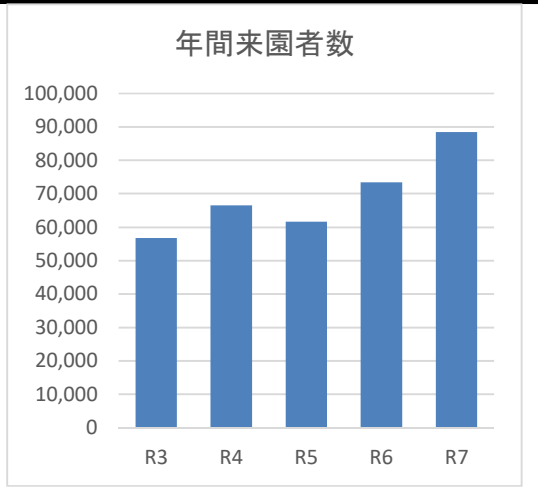
資料1-1

分類	郷土の歴史的文化の継承及び地域の振興に関する事業(定款4条3号)					
実施月	郷土の歴史的文化の継承に関する事業			地域の振興に関する事業		
4月	1日(火)～5月6日(火・休)	展示	こいのぼり・五月人形の展示	5日(土)	参加	春を楽しむ日
	20日(日)	参加	紙芝居を楽しもう(4月)			
	20日(日)	参加	ベーゴマ教室			
	26日(土)～5月6日(火・休)	体験	親子体験教室①・こいのぼり作り			
5月				3日(土・祝)	参加	ゴールデンウィークまつり
	18日(日)	参加	紙芝居を楽しもう(5月)	17日(土)	公演	ふるさと芝居「ある親子の問答」
6月	15日(日)	参加	紙芝居を楽しもう(6月)			
	21日(土)	体験	郷土・伝統文化体験①・パラコード体験教室			
7月	1日(火)～6日(日)	体験	七夕・七夕短冊作り			
	26日(土)～8月1日(金)	展示	盆棚の展示			
	28日(月)	参加	建物燻蒸体験会	19日(土)～8月31日(日)の土日祝	参加	夏休みこども企画
8月				2日(土)	参加	灯りまつり
9月	21日(日)	参加	紙芝居を楽しもう(9月)			
	26日(金)～10月12日(日)	展示	昔の暮らしの道具展			
10月	1日(水)～7日(火)	展示	十五夜の展示			
	19日(日)	参加	紙芝居を楽しもう(10月)	13日(月・祝)	公演	ふるさと村寄席
	26日(日)～11月1日(土)	展示	おかまさまの展示			
	29日(水)～11月3日(月・祝)	展示	十三夜の展示			
11月	3日(月・祝)～9日(日)	展示	亥の子のぼたもちの展示	2日(日)	参加	ふるさと村の村まつり
	14日(金)～20日(木)	展示	エベスコの展示	15日(土)、30日(日)	参加	お芝居ワークショップ
	16日(日)	参加	紙芝居を楽しもう(11月)	22日(土)	参加	麦まき日待ち秋のまつり
	29日(日)	体験	郷土・伝統文化体験②・羽子板作り体験教室			
12月	13日(土)～1月12日(月・祝)	展示	郷土かるたとなつかしいおもちゃ展			
	13日(土)	体験	もちつき体験会・鏡もちの展示			
	21日(日)	参加	紙芝居を楽しもう(12月)	20日(土)～1月12日(月・祝)	参加	遊びのひろば
1月	6日(火)～9日(金)	展示	あぼひぼの展示			
	10日(土)～15日(木)	展示	まゆ玉の展示			
	16日(金)～21日(水)	展示	エベスコの展示			
	22日(木)～2月13日(金)	展示	昭和の結婚式の展示			
2月	1日(日)	参加	ふるさと村の節分			
	14日(土)～3月3日(火)	展示	ひな人形の展示			
3月	15日(日)	参加	紙芝居を楽しもう(3月)	14日(土)	公演	ふるさと村公演(和楽器演奏会)
	22日(日)	体験	親子体験教室②・動物をつくろう			
通年	・小学校団体見学受入			・観光案内		
合計44事業	郷土の歴史的文化の継承に関する事業　32事業 (内訳) 体験型事業:6　参加型事業:11　展示事業:14 小学校団体見学受入:1			地域の振興に関する事業　12事業 (内訳) 参加型事業:8　公演:3 観光案内:1		

ふるさと村　来園者数の年度推移

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3	開園日	25	26	25	26	25	26	26	24	22	21	22	26	294
	入園者数	5,537	6,334	4,408	3,122	3,047	4,146	5,261	6,620	4,113	4,394	4,155	5,640	56,777
4	開園日	26	26	25	27	24	26	26	25	21	21	22	26	295
	入園者数	6,051	8,425	4,875	3,594	6,153	3,938	5,008	7,992	4,419	5,025	4,925	6,112	66,517
5	開園日	25	26	25	26	26	26	25	25	21	21	24	25	295
	入園者数	6,815	6,516	5,200	3,778	5,062	3,551	4,555	6,540	3,743	4,429	4,967	6,480	61,636
	1日平均	273	251	208	145	195	137	182	262	178	211	207	259	209
	前年度比	764	−1,909	325	184	−1,091	−387	−453	−1,452	−676	−596	42	368	−4,881
6	開園日	25	26	25	26	26	25	27	25	21	21	22	26	295
	入園者数	7,051	6,507	5,470	3,086	6,334	3,416	5,149	7,919	5,248	6,826	8,799	7,631	73,436
	1日平均	282	250	219	119	244	137	191	317	250	325	400	294	249
	前年度比	236	−9	270	−692	1,272	−135	594	1,379	1,505	2,397	3,832	1,151	11,800
7	開園日	25	26	24	26	26	25	26	25	21	23	22	25	294
	入園者数	10,631	8,439	6,015	4,138	7,940	4,407	6,043	11,356	5,509	7,897	7,383	8,767	88,525
	1日平均	425	325	251	159	305	176	232	454	262	343	336	351	301
	前年度比	3,580	1,932	545	1,052	1,606	991	894	3,437	261	1,071	−1,416	1,136	15,089





令和8年度 小平ふるさと村 自主事業 分類別・月別計画表

資料1-3

分類	郷土の歴史的文化の継承及び地域の振興に関する事業(定款4条3号)					
実施月	郷土の歴史的文化の継承に関する事業			地域の振興に関する事業		
4月	1日(水)～5月6日(水・休)	展示	こいのぼり・五月人形の展示	4日(土)	参加	春を楽しむ日
	19日(日)	参加	紙芝居を楽しもう(4月)			
	19日(日)	参加	ベーゴマ教室			
	25日(土)～5月6日(水・休)	体験	親子体験教室①・こいのぼり作り			
5月				2日(土)	参加	ゴールデンウィークまつり
	17日(日)	参加	紙芝居を楽しもう(5月)	23日(土)	公演	古民家芝居公演
6月	21日(日)	参加	紙芝居を楽しもう(6月)			
	27日(土)	体験	郷土・伝統文化体験①			
7月	1日(水)～5日(日)	体験	七夕・七夕短冊作り			
	25日(土)～31日(金)	展示	盆棚の展示			
8月				1日(土)	参加	灯りまつり
				23日(日)	参加	夏休みこども企画
9月	20日(日)	参加	紙芝居を楽しもう(9月)			
	21日(月・祝)～27日(日)	展示	十五夜の展示			
	26日(土)～10月10日(土)	展示	なつかしい生活用品展			
10月	18日(日)	参加	紙芝居を楽しもう(10月)	12日(月・祝)	公演	ふるさと村寄席
	21日(水)～25日(日)	展示	十三夜の展示			
	27日(火)～31日(土)	展示	おかまさまの展示			
11月	5日(木)～10日(火)	展示	亥の子のぼたもちの展示	1日(日)	参加	ふるさと村の村まつり
	14日(土)～20日(金)	展示	エベスコの展示			
	15日(日)	参加	紙芝居を楽しもう(11月)	21日(土)	参加	麦まき日待ち秋のまつり
	23日(月・祝)	体験	郷土・伝統文化体験②			
12月	12日(土)	体験	もちつき体験会・鏡もちの展示			
	16日(水)～1月11日(月・祝)	展示	郷土かるたとなつかしいおもちゃ展			
	20日(日)	参加	紙芝居を楽しもう(12月)	19日(土)～1月11日(月・祝)	参加	遊びのひろば
1月	6日(水)～8日(金)	展示	あぼひぼの展示			
	9日(土)～15日(金)	展示	まゆ玉の展示			
	16日(土)～21日(木)	展示	エベスコの展示			
	22日(金)～2月13日(土)	展示	昭和の結婚式の展示			
	31日(日)	参加	ふるさと村の節分			
2月	14日(日)～3月3日(水)	展示	ひな人形の展示			
3月	21日(日・祝)	参加	紙芝居を楽しもう(3月)	13日(土)	公演	ふるさと村公演(和楽器演奏会)
	22日(月・休)	体験	親子体験教室②			
通年	・小学校団体見学受入			・観光案内		
合計42事業	郷土の歴史的文化の継承に関する事業　31事業 (内訳) 体験型事業:6　参加型事業:10　展示事業:14 小学校団体見学受入:1			地域の振興に関する事業　11事業 (内訳) 参加型事業:7　公演:3 観光案内:1		

令和7年度　小平ふるさと村　主な修繕

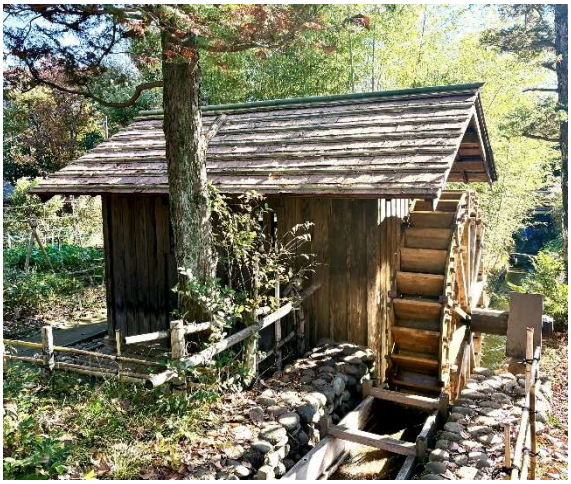
資料１－４

・水車小屋屋根修繕

【修繕前】



【修繕後】



・火の見櫓修繕

【修繕前】



【修繕後】





令和 8 年度第 1 回　資料 2-1

小平市文化財保護事業について(令和 7 年度実績、令和 8 年度計画)

令和 8 年度の事業計画	令和 7 年度の実績
1　文化財保護審議会の開催	
5 月・7 月・11 月、2 月(計 4 回)	5／16、8／1、11／14、3／13
2　文化財保存研究団体への事業費補助	
小平市鈴木ばやし保存会(囃子演奏後継者育成補助 30,000 円、道具修繕補助 19,000 円) 小平郷土研究会(方言調査の成果の刊行 118,560 円)	小平市鈴木ばやし保存会(囃子演奏後継者育成補助 30,000 円、道具修繕補助 19,000 円) ※小平郷土研究会は、方言の調査を実施、補助申請はなし。
3　市指定文化財維持管理への事業費補助	
対象文化財：小平市指定天然記念物「竹内家の大ケヤキ」落ち葉搬出処分事業補助(総事業費・予定)66,000 円、市補助額 49,500 円(総事業費の 3/4) ※市内最大級の古樹である竹内家の大ケヤキから生じる大量の落ち葉について、その処分に補助を行う。	対象文化財：小平市指定天然記念物「竹内家の大ケヤキ」落ち葉搬出処分事業補助(総事業費・予定)66,000 円、市補助額 49,500 円(総事業費の 3/4)
4　市指定文化財公開謝礼の交付	
対象文化財：小平市指定有形文化財「海岸寺山門」「小金井桜樹碑」「延命寺庚申塔」「鈴木稲荷神社本殿覆屋の鏝絵」「鈴木稲荷神社境内の金比羅社の彫刻装飾」「小川寺梵鐘」「小川村開拓碑」 小平市指定無形民俗文化財「鈴木ばやし」 小平市指定史跡「武蔵野一本榎跡」「小川九郎兵衛墓」「高橋定右衛門墓」 小平市指定天然記念物「竹内家の大ケヤキ」「熊野宮のケヤキ」「鈴木稲荷神社のケヤキ」 ※謝礼額は、文化財建造物である海岸寺山門が 50,000 円、それ以外は 10,000 円。	令和 8 年度事業と同様の内容を実施
5　教育普及事業	
①文化財体験講座「黒曜石で旧石器を作ってみよう」〔8 月、鈴木遺跡資料館〕 ②検討中文化財講演会〔2 月〕 ③こだいら遺跡ウォーク「国史跡鈴木遺跡をあるく」〔10 月、鈴木遺跡資料館ほか〕 ④検討中昭和 100 年パネル展示〔10 月、鈴木遺跡資料館〕 ⑤検討中文化財めぐり「小金井サクラ」〔12 月〕	①文化財体験講座「黒曜石で旧石器を作ってみよう」〔8/19、鈴木遺跡資料館、13 名〕 ②海岸寺修復工事完了講演会〔11/29、大沼公民館、17 名〕 ③こだいら遺跡ウォーク「国史跡鈴木遺跡をあるく」〔3/28、鈴木遺跡資料館ほか、19 名〕 ④終戦 80 年パネル展示〔8/14～8/28、小平市役所〕 ⑤こだいら・こがねい文化財めぐり〔12/6、20 名〕

※金額については、令和7年度は実績、令和8年度は予算額。

6　文化財防火デー	
時期：1 月下旬(1／26 を中心に 1 週間程度) 内容：文化財防火啓発看板の掲出(神明宮、小川寺、熊野宮、延命寺、海岸寺、小平ふるさと村、鈴木遺跡資料館) ※消防署による訓練も実施。	看板の掲出。〔1／21～28〕 海岸寺での消防訓練（消防署実施）〔1／23〕ふるさと村での消防訓練を実施〔1／30〕
7　多摩郷土誌フェア文化財図書販売	
日時：　（調整中）1／16(土)・17(日) 会場：　（調整中）立川市女性会館アイム ※多摩の自治体が、文化財図書販売を行う。文化財担当・図書館刊行の文化財関連図書を販売。	〔1／17・18、立川市柴崎学習館〕 売上　36 冊　50,770 円
8　国指定史跡鈴木遺跡保存活用事業	
①史跡整備基本設計（1 年目） ②用地整備事業進捗報告オープンハウスパネル展「鈴木遺跡の今、そして未来」の実施 会期：　令和 9 年 2～3 月頃に 1 週間程度開催。 会場：　鈴木遺跡資料館展示室 ※鈴木遺跡保存管理等用地の整備事業の進捗状況をパネル展示し、市民に報告する。	①史跡整備基本計画策定 ②用地整備事業進捗報告オープンハウスパネル展「鈴木遺跡の今、そして未来」の実施 会期：　令和 8 年 3 月頃に 1 週間程度開催。 会場：　鈴木遺跡資料館展示室 ※鈴木遺跡保存管理等用地の整備事業の進捗状況をパネル展示し、市民に報告する。
9　埋蔵文化財発掘調査・史跡名勝管理	
4 月～：鈴木遺跡・本調査（八小西） 6 月：鈴木遺跡・試掘調査（鈴木小北） ※緊急発掘調査が生ずれば随時実施。 『市内遺跡発掘調査報告書―令和 8 年度―』	・中央エリア〔5／7～8、27.0 ㎡〕 ・鈴木遺跡〔9／1～17、60.0 ㎡〕→本調査実施へ ・玉川上水〔10／6～25〕 ・小平合同庁舎〔11／4～5、16.0 ㎡〕 ・『市内遺跡発掘調査報告書―令和 7 年度―』刊行 ・埋蔵文化財発掘届出・通知(文化財保護法 93・94 条)12 件→立会調査 8 件 ・現状変更許可申請(文化財保護法 125 条)小金井サクラ・玉川上水：国許可 2 件・市許可 5 件、鈴木遺跡：市許可 2 件→工事立会 1 件 ・小金井サクラ枝折 2 件、枯損 1 件、繁 1 件
10　収蔵品管理	
民具庫燻蒸〔3 月〕	民具庫燻蒸〔3／11〕 貸出(民具)4 件 掲載許可(再掲載を含め)9 件 調査協力 2 件 民具(衣類の防虫剤交換)・拓本整理実施

11　デリバリーこだいら、出前講座、学校協力	
	市内小学校校外学習協力(鈴木小) 公民館事業協力 1 件 デリバリーこだいら 2 件 出前講師 1 件 教育委員会だよりキッズコーナー（戦争中の小平の陸軍施設、旧小川家住宅玄関棟、小平の土地区画の歴史からみた学校の敷地の形、小川村開拓碑） 錦城高校作成動画 1337 人閲覧（+329 人）
12　その他	
①市内石造物拓本裏打 ②鈴木遺跡発掘関係写真のデジタル化	①書籍等の受け取り(281 冊) ②市内石造物拓本裏打 ③郷土かるた印刷 ④鈴木遺跡発掘関係写真のデジタル化 ⑤図書館デジタルアーカイブ拡充【図書館事業】 ※鈴木遺跡の出土品の 3D データ化、海岸寺報告書・3D データの公開 ⑥統合型 GIS システム【12 課連携】 ※市役所内の地図情報の統合と公開
	鈴木遺跡資料館エアコン清掃

⑤　こだいらデジタルアーカイブ



鈴木遺跡

Suzuki Ruins

鈴木遺跡からは発掘調査により様々な出土品が見つかっています。後期旧石器時代の各時期の特徴的な石器をご覧いただきます。

鈴木遺跡とは

鈴木遺跡は、小平市南東部の鈴木町、回田町、御幸町に広がる遺跡です。鈴木小学校の建設時に水車跡が発見されたことをきっかけに発掘が行われるようになりました。3万8000年前から1万6000年前までのに形成された、12枚の文化層が見つかっています。そのため後期旧石器時代に使われていた石器の変遷を継続的に追うことができます。
令和3年3月にはその重要性が評価され、国の史跡に指定されています。

鈴木遺跡から出土した旧石器は4万点を超えます。その中から後期旧石器時代を特徴づける出土品を選び3Dビューア化しました。
例えば局部磨製石斧は日本でこれまでに約1,000点見つかっていますが、そのうち22点は鈴木遺跡で見つかりました。



海岸寺山門

Kaisanji Temple Mountain Gate

海岸寺は小平市無形民俗文化財の寺院です。その入り口には近隣では珍しい木造四脚の山門があります。
令和5年度に建築以来初めての半解体修理を行いました。その際に得られた建物の様子をご覧いただくことができます。

海岸寺山門とは

海岸寺は江戸時代に鈴木新田と呼ばれていた地域にあります。徳川吉宗の時代の新田開発奨励策をきっかけとして開発された地域です。鈴木新田の人々の心のよりどころであった海岸寺は、宝暦8年（1758）に本堂が建てられたと伝わっており、山門も同時期に建てられた可能性が高いと考えられてきました。
江戸時代には観光名所になっていたが由井桜の絵画に描かれていることもありました。
平成元年に小平市の指定文化財になっています。



海岸寺山門　修理後

海岸寺山門の修理が終わってからの状況を3D化したものです。
葺き替えられた茅が海を思う、歴史的に重要な建物としての存在感をかもしています。普通に見ることのできない屋根の上も見ることができます。

協力：海岸寺
　　立正大学文学部考古学研究センター

3Dビューア

対象



海岸寺山門　修理中（屋根）

海岸寺山門の屋根を支えている梁です。令和5年度の工事中に記録したものです。
四隅の部材の組方の違いから、複数の大工によるものではないかと考えられます。

協力：海岸寺
　　立正大学文学部考古学研究センター

3Dビューア

対象



調査報告書

令和5年度に実施した海岸寺山門の半解体修理の報告書です。
令和3・4年度に現状と修理方法の検討を実施し、その結果を踏まえて半解体修理を令和5年度に実施しました。どのような修理を行ったかということや、修理中に分かったことなどについてまとめています。建物建築年代を明確に示す資料は見つかっていませんが、意匠の様式などから海岸寺で伝わっている天明3年（1783）ごろに建てられた可能性が高いことが分かってきました。

報告書を読む（PDF）

対象

⑥こだいら地図情報システム



令和8年度第1回　資料2-2

令和7年度　鈴木遺跡資料館　入館者数

※　開館日数は、臨時開館を含む

	開館日数	利用者内訳						利用者合計	前年比	一日当たり
		男女	小学生	中学生	高学生	大学生	一般			
4月	14日	男	31人	2人	1人	4人	67人	190人	83	13.6
		女	27人	1人	1人	1人	55人			
5月	15日	男	16人		3人	7人	76人	174人	49	11.6
		女	11人			1人	60人			
6月	13日	男	16人		3人	2人	73人	132人	-36	10.2
		女	10人	1人		1人	26人			
7月	14日	男	1人			4人	41人	84人	-66	6.0
		女	5人			3人	30人			
8月	15日	男	49人	11人		1人	60人	218人	76	14.5
		女	34人	5人	3人		55人			
9月	14日	男	23人	1人			76人	172人	84	12.3
		女	25人				47人			
10月	17日	男	76人		3人		61人	240人	100	14.1
		女	62人		1人		37人			
11月	16日	男	15人	1人			92人	160人	-7	10.0
		女	13人				39人			
12月	10日	男	2人		2人		36人	71人	-13	7.1
		女	2人		1人		28人			
1月	13日	男	7人	9人			60人	153人	48	11.8
		女	9人	19人		1人	48人			
2月	13日	男	8人	2人		2人	39人	80人	-37	6.2
		女	5人				24人			
3月	14日	男	10人				83人	159人	-86	11.4
		女	8人	1人	2人		55人			
合計	154日	男	254人	26人	12人	20人	764人	1833人	195	11.9
		女	211人	27人	8人	7人	504人			
		計	465人	53人	20人	27人	1268人			
前年度	173日	男	171人	20人	10人	51人	716人	1638人		9.5
		女	150人	17人	7人	30人	466人			
		計	321人	37人	17人	81人	1182人			

資料３

行 事 等 開 催 結 果 報 告

令和 8年 3月31日
文 化 ス ポ ー ツ 課

1. 行　　事　　名	令和7年度　鈴木遺跡保存管理等用地整備事業 「現在の状況と予定を解説するパネル展 ～　鈴木遺跡の今そして未来　～」
2. 開　催　年　月　日	令和8年3月20日(金)　～　3月28日(日) 午前10時　～　午後4時（延べ6日間） ※資料館休館日の23・24・26・27日は未開催
3. 会　　場	鈴木遺跡資料館展示室
4. 目　的（　対　象　）	目　的：鈴木遺跡保存管理等用地（農林中央金庫小金井研修所跡地）の整備事業について、これまでの事業内容や令和7年度の作業内容、今後の史跡整備事業の予定等をパネル展示で紹介し、学芸員が見学者に個別解説する。 対　象：市民（特に用地周辺の住民）
5. 主　催　・　後　援	主　催：小平市　地域振興部　文化スポーツ課
6. 参　加　者　数 （前　年　実　績）	６２人（6日間合計）　※　前年度は５９人
7. 特　記　事　項	持ち帰られた配布資料数　１３部
備　考　　期間中に実施された遺跡ウォーク参加者（１９名）は、今回パネル展見学者数からは除外しております。	